

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉サービスに関するホームページ活用事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	豊田 武彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	保健福祉サービス情報の提供と利用の促進
事業内容	市民への福祉サービスの情報を充実するために、市のホームページを活用します。			
事業開始から現在までの状況変化	保健福祉サービスの内容や提供事業所、利用手続き等を市のホームページに掲載し、利用の促進を図っています。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市の情報を市のホームページで知る人の割合	32.70	33.90	34.10	%	↑↑↑
②	市から情報が十分に提供されていると思います	65.90	62.10	60.20	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート
③	市から情報が十分に提供されていると思います	53.70	51.90	50.40	%	↑↑↑	保健医療サービス
④							まちづくり達成度アンケート
⑤							福祉サービス
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,036,500	1,129,500	1,029,750
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)	0.15	0.15	0.15
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

保健福祉サービスの内容や提供事業所及び利用手続き等の促進を図るため、市のホームページをわかりやすい内容にするよう努めていますが、高齢者や障害者等の方で、パソコンを操作することが困難な人が多くいます。このため情報提供は、個人通知や市の窓口をはじめ、地域の相談機関である地域包括支援センター、地域生活支援センター、子育て支援センター等で相談に応じているほか、民生委員、健康づくり推進員等の活動を通じて、情報の提供やサービスの利用の促進を図っている。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	市のホームページの活用により、市民等への情報提供の拡大を図る。	③取組の課題	福祉サービス等の情報を充実させるため、文字だけでなく写真やイラスト等をどのように使っていくのか。
②今年度(H28)に実施した取組	福祉サービス等の情報を積極的に、かつ、わかりやすく提供するよう努めた。	④今後の改善計画	高齢者等が見やすく、分かりやすいホームページの充実に努め、迅速な更新を行いたい。